

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	3694	担当課等	土木課							
事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業									
予算科目コード	会計	1	款	7	項	2	目	1	事業開始年度	平成15年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	⑧土砂災害・洪水対策の強化及び改良事業の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	○								○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○		○					
目 的	神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業費の一部を負担するもの。								
対 象	町民及び土地所有者								
内 容	急傾斜地崩壊対策工事(法面工など)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)		
	事業費		8,200,000	5,995,575	6,700,000		
	人件費	常勤職員	685,600	723,200	731,800		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	685,600	723,200	731,800		
	総事業費		8,885,600	6,718,775	7,431,800		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債		4,600,000	2,700,000			
	その他特定財源						
	一般財源		4,285,600	4,018,775	7,431,800		
	財源合計		8,885,600	6,718,775	7,431,800		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
対象箇所数			急傾斜地崩壊対策	地区	2	2	2
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
急傾斜地崩壊対策負担金			負担金額	千円	8200	5996	6700
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	急傾斜地崩壊対策工事は、一定の要件を満たす場合は、県が工事実施することができ、その費用の一部について町で負担する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、災害による町民の危険を排除することができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、町民の災害に対する安全性が向上する。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2	事業実施箇所が、急傾斜地崩壊危険箇所に指定された区域に限られる。
令和5年度までの自己評価または改善点		特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	県と事業について調整を行い、引き続き実施していく。
令和6年度の見直し及び改善予定	特になし。	
令和7年度以降の方向性	現在町内では2箇所(宮上道中・福浦)の事業を進めているが、令和6年度に宮上道中地区の整備が完了予定であるため、新たな危険箇所の指定について県及び地元と調整を行う。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	町民の安全を守るため県と連携し、事業を継続していくこと。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	7910	担当課等	土木課						
事務事業名	河川改修事業								
予算科目コード	会計	1	款	7	項	3	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 治山・治水	(2) 治水事業の推進	②河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○		○					
目 的	河川維持修繕事業で対応できない、大規模な修繕を必要とする箇所について改修工事を実施し、町民や土地所有者を水害から守る。								
対 象	町民及び土地所有者								
内 容	大規模な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)		
	事業費		4,928,000	9,828,500	12,000,000		
	人件費	常勤職員	1,371,200	2,892,800	2,927,200		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,371,200	2,892,800	2,927,200		
	総事業費		6,299,200	12,721,300	14,927,200		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		6,299,200	12,721,300	14,927,200		
	財源合計		6,299,200	12,721,300	14,927,200		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
工事請負費			水路改修工事	千円	4928	9828	12000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
工事箇所数			工事箇所数	箇所	1	3	2
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	水路等は町の施設であり、維持管理を怠ると水害により町民生活を脅かす危険性がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	改修工事を実施することにより、水害を防止し安全性の向上が図られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	改修工事を実施することにより、水害を防止し安全性の向上が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	改修箇所は、町内全域を対象としているが、危険性の高い水路を優先するため、多少偏る傾向がある。
令和5年度までの自己評価または改善点		危険性の高い水路の改修をした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和6年度の見直し及び改善予定	改修が必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。	
令和7年度以降の方向性	水路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工事を行っていく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き事業を実施し、安全の確保を図ること。
---------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月10日

事業番号	728	担当課等	土木課						
事務事業名	交通安全施設整備事業								
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	8	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 交通安全	(1) 交通安全対策の充実	①交通安全施設や歩道の整備				
関連する個別計画	第9次湯河原町交通安全計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	第9次湯河原町交通安全計画等を基に、関係機関との連携を図りながら、効果的な交通安全施設整備を行う。								
対 象	町民、観光客等								
内 容	カーブミラーや道路標示等を整備し、町民や観光客等の交通安全の確保を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
コスト	人件費	2,742,400		2,892,800		2,927,200	
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	2,742,400		2,892,800		2,927,200	
	総事業費	4,502,400		5,867,200		6,927,200	
	総事業費	4,502,400		5,867,200		6,927,200	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	3,184,000		2,696,000		4,000,000	
	一般財源	1,318,400		3,171,200		2,927,200	
	財源合計	4,502,400		5,867,200		6,927,200	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
区画線整備数		施設整備		箇所	3	5	3
カーブミラー設置数		施設整備		箇所	0	0	2
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
町内の交通人身事故件数(1～12月)		交通人身事故の減少		件	50	72	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	区画線やカーブミラー等の交通安全施設は道路利用者の安全を確保するためのもので、その設備・維持管理は道路管理者の町が実施すべき事業。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	危険な通学路を重点に施設整備、維持管理を実施して費用に見合った効果が得られている。また、舗装等の整備事業との連携を効率的に図っている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地域、道路利用者及び学校関係者等からの要望・意見を参考に整備を実施しており、交通安全確保に一定の成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	運転者や歩行者など道路利用者を対象とした事業であり、受益の機会は均等である。
令和5年度までの自己評価または改善点		歩行者の危険を回避するため、区画線等の路面標示やカーブミラーの整備を行い、運転者の危険を回避するため、カーブミラーや注意喚起看板の設置及び維持管理を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	交通安全施設の設置及び維持管理は、道路管理者の町が直接実施すべき事業である。また国からの交付金を活用している事業であるため、委託・指定管理の導入は難しい。
令和6年度の見直し及び改善予定	児童・生徒の通学路危険箇所の解消を重点的に行ってきたが、未就学児や高齢者の交通事故防止にもつながるよう施設整備を検討する。	
令和7年度以降の方向性	道路利用者の交通の安全を確保していくためには、交通安全施設の設置及び維持管理を継続して実施する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	交通安全の推進と、交通事故の防止を達成するため、有効な事業である。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月10日

事業番号	732	担当課等	土木課							
事務事業名	交通安全対策推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	8	事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	1 交通安全	(1) 交通安全対策の充実	③交通安全運動の推進				
関連する個別計画	第9次湯河原町交通安全計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	交通安全運動並びに交通安全教育を推進し、町民及び観光客等の交通安全の確保を図る。								
対象	町民、観光客等								
内容	町内の交通安全対策に関し、関係機関等との連携を図りながら、組織的かつ効果的な交通安全対策を樹立計画するとともに、これを推進し交通事故の防止を図る。交通安全関係団体に活動費等を助成する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)		
	事業費		3,117,384	2,873,316	3,233,000			
	人件費	常勤職員	4,113,600	4,339,200	4,390,800			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	4,113,600	4,339,200	4,390,800			
	総事業費		7,230,984	7,212,516	7,623,800			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		7,230,984	7,212,516	7,623,800			
	財源合計		7,230,984	7,212,516	7,623,800			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
街頭指導及び街頭啓発			小田原交通安全協会湯河原支部		回	18	24	40
			湯河原町交通安全母の会		回	23	23	28
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
町内の交通人身事故件数(1～12月)			交通人身事故の減少		件	50	72	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会等と連携し、取り組む必要があるため、町が主体で実施すべき事業である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び母の会に交通安全事業に対し、町から委託金等、支援を実施している。費用対効果は高い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	年間を通じて交通安全の街頭指導や啓発活動、パトロールなどを行い、交通安全の推進と交通安全意識の高揚に努めており、一定の成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各団体が実施する交通安全に係る事業の対象は、町民・観光客等であり、受益の機会均等である。
令和5年度までの自己評価または改善点	小田原警察署や関係機関の協力を得て、交通安全運動期間中の街頭啓発や高齢者の交通事故を防止するための活動などを行い、交通安全に対する意識向上を図る。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会等と連携して取り組む必要があるため、委託・指定管理の導入は難しいと考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	交通事故を抑止するため、小田原警察署や関係機関と連携し、幼児から高齢者まで交通安全についての知識を身につけてもらうため、交通安全教室などの実施について検討する。	
令和7年度以降の方向性	交通安全の推進と交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止を達成するためには、今後も各団体と連携・協力をしながら事業を実施する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	交通安全の推進と、交通事故の防止を達成するため、有効な事業である。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	3709	担当課等	土木課							
事務事業名	道路新設改良事業									
予算科目コード	会計	1	款	7	項	2	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅳ 交通ネットワークの整備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備	②道路の新設・改良 ⑥道路ストックの維持管理の推進				
関連する個別計画	・湯河原町橋りょう長寿命化修繕計画・湯河原町トンネル長寿命化修繕計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設（橋梁・トンネルほか）の長寿命化や耐震化を図る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路新設改良事業、橋梁・トンネルほか補修及び耐震事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
コスト	人件費	常勤職員	2,742,400	2,892,800	2,927,200		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	2,742,400	2,892,800	2,927,200		
		総事業費	93,919,061	99,155,560	115,527,200		
		国庫支出金	42,244,000	32,781,000	22,863,000		
財源内訳		県支出金					
		地方債	26,700,000	52,600,000	77,600,000		
		その他特定財源					
		一般財源	24,975,061	13,774,560	15,064,200		
		財源合計	93,919,061	99,155,560	115,527,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
工事請負費		道路改良工事	千円	57787	78764	102400	
委託料		委託	千円	33227	17498	10200	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
工事箇所数		工事箇所数	箇所	5	11	11	
委託箇所数		委託箇所数	箇所	4	2	2	

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	道路施設は、公共性が高く、交通網の充実や安全性確保のため町が実施するもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	道路整備により、道路利用者の利便性・安全性が向上し、効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	国補助金(社会資本整備総合交付金)減により、事業を縮小しなければならない場合がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。
令和5年度までの自己評価または改善点		各計画に基づき、順次改修を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和6年度の見直し及び改善予定	点検・調査に基づき、計画を策定・修正を行いながら改修を実施する。	
令和7年度以降の方向性	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化を各計画に基づき実施する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	安全の確保の観点からも、計画的に道路ストックの新設や改良を引き続き行っていくこと。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	3614	担当課等	土木課							
事務事業名	地籍調査事業									
予算科目コード	会計	1	款	7	項	1	目	1	事業開始年度	平成20年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅳ 交通ネットワークの整備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備	⑦地籍調査の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
									○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	境界紛争の未然防止や公共事業の計画策定、地震などの自然災害時におけるライフライン確保の円滑化を図る。								
対象	町内土地所有者								
内容	国土調査法に基づき町が主体となつて行う地籍に関する調査								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		10,719,168		10,896,760		11,070,000	
	人件費	常勤職員	5,484,800		5,785,600		5,854,400	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	5,484,800		5,785,600		5,854,400	
	総事業費		16,203,968		16,682,360		16,924,400	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		6,453,000		6,780,000		6,677,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		9,750,968		9,902,360		10,247,400	
	財源合計		16,203,968		16,682,360		16,924,400	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
地籍調査委託費			地籍調査委託		千円	9355	9493	9645
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
地籍調査面積			地籍調査実施面積		km ²	0.06	0.05	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	国土調査法に基づき町が主体となって行うべき地籍に関する調査事業である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用削減につながっている。
類 似 性	他事業との類似はないか	5	個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用削減につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用削減につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	毎年調査区域を決め事業を推進しており、調査区域内において、受益の機会が均等と思われるが、町全体でとらえた場合、ばらつきがある。
令和5年度までの自己評価または改善点		県が大規模災害の備えとして津波浸水想定図をもとに「緊急重点地域」と定めた相模湾沿岸地区及び土砂災害警戒区域を含む地区において調査を実施した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	調査について、引き続き委託していく。
令和6年度の見直し及び改善予定	国土調査法第10条第2項の規定に基づき、包括的に地籍調査の実施を民間事業者に委託し、職員の負担の軽減や業務の効率化を図る。	
令和7年度以降の方向性	年次計画に基づき事業を実施していく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	配置人員等から実施規模は妥当であると考え、引き続き年次計画に基づき事業を実施する。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	3675	担当課等	土木課						
事務事業名	道路占用掘削跡舗装復旧事業								
予算科目コード	会計	1	款	7	項	2	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅳ 交通ネットワークの整備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備	⑥道路ストックの維持管理の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	道路占用に伴う掘削跡の本復旧について、舗装の機能を良好な状態に保つため、町が実施する。								
対 象	占有者及び道路利用者								
内 容	道路占用掘削跡舗装復旧工事								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)		
	事業費		5,952,744	5,868,099	6,000,000		
	人件費	常勤職員	2,742,400	2,892,800	2,927,200		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	2,742,400	2,892,800	2,927,200		
	総事業費		8,695,144	8,760,899	8,927,200		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		6,000,000	6,000,000	6,000,000		
	一般財源		2,695,144	2,760,899	2,927,200		
	財源合計		8,695,144	8,760,899	8,927,200		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
舗装復旧箇所数			復旧箇所数	箇所	29	21	30
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
舗装復旧面積			復旧面積	m ²	370	267	181
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町道路占用等規則第12条の規定により、道路占用に伴う掘削跡の本復旧は町で行うとしている。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	当事業の財源は、占用者が負担した路面復旧費を充当している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	占用者が実施した占用工事箇所の状態を確認し、本復旧工事を実施。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	事業の対象箇所である道路占用の本復旧箇所の舗装の機能や品質が保持できる。
令和5年度までの自己評価または改善点		仮復旧状況を確認しながら、本復旧を行う。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	道路は町の重要な社会インフラ施設であり、占用復旧工事といえども委託は適当ではない。
令和6年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和7年度以降の方向性	占用者による本復旧としているケースが多く、本町においても近隣市町の実績、実態を確認しながら、占用者による本復旧とすることを含め、今後の対応について検討していく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	近隣市町の動向や町民・事業者(占用者)の意向などを勘案し、占用者による本復旧とすることを含め、今後の事業継続について検討すること。
---------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	3698	担当課等	土木課						
事務事業名	道路改修事業								
予算科目コード	会計	1	款	7	項	2	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅳ 交通ネットワークの整備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備	⑥道路ストックの維持管理の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目 的	道路維持修繕事業で対応できない、大規模な舗装改修などを必要とする箇所について工事を実施し、町民や道路利用者の利便性と安全性を向上する。								
対 象	町民及び道路利用者								
内 容	大規模な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	2,742,400	2,892,800	2,927,200	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	2,742,400	2,892,800	2,927,200	
		総事業費	8,824,524	7,721,800	12,132,200	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債				6,900,000	
	その他特定財源	6,082,124				
	一般財源	2,742,400	7,721,800	5,232,200		
	財源合計	8,824,524	7,721,800	12,132,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
工事請負費		道路改修工事	千円	5855	4789	7000
委託料		委託	千円	0	0	2205
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
工事箇所数		道路工事	箇所	11	3	3
委託箇所数		委託業務	箇所	0	0	1

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会均等である。
令和5年度までの自己評価または改善点		道路の状態により危険性の高いものから順次改修を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和6年度の見直し及び改善予定	改修が必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。	
令和7年度以降の方向性	道路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工事を行っていく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き事業を実施し、安全の確保を図ること。
---------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------